

令和 2 年度 松江市原子力防災訓練(案)について

防災安全部原子力安全対策課

1. 概 要

原子力災害対策特別措置法に基づき、地域防災計画や原子力災害広域避難計画に定める原子力災害発生時の対応手順及び対応体制を検証することを目的として、原発周辺 30km 圏内の 2 県 6 市が合同で開催する。

2. 実 施 時 期

令和 2 年 10 月 28 日(水) 初動対応訓練、災害対策本部設置運営訓練 ほか
31 日(土) P A Z の防護措置訓練 ほか

3. 参加機関等(予定)

国、島根県、松江市、鳥取県、周辺 5 市、地域住民、学校、中国電力 ほか

4. 主な訓練項目

(1) 災害対策本部設置運営訓練

- ・感染症流行下にて地震と原子力災害の複合災害が発生したことを想定した、災害対策本部会議の運営方法の検討

(2) P A Z の防護措置訓練

- ・感染症流行下での一時集結所における健康確認や、避難車両への乗車方法の検討

区域	訓練実施地区
P A Z (5 km圏)	鹿島地区

※バス等による避難先自治体への住民避難訓練については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和 2 年度は実施しない。

(3) 原子力防災学習会、広報活動訓練

- ・訓練参加住民を対象とした原子力防災学習会や、ケーブルテレビを用いた原子力防災に関する広報番組放送